

## あけましておめでとうございます

おかげさまでまちなか環境学習館は4回目の正月を迎えることができました。これも、ご利用いただいている市民の皆様、そして地域の商店街の皆様のお陰と感謝しております。

昨年を簡単に振り返りますと、まず4階の学習室、環境学習の場、そして自習の場として活用していただいておりますが、当初からの利用者数も2万7千人を超え、毎月740人前後の方にご利用いただいております。時には満席ということでも心ならずもお帰りをいただくことも生じており、この度、学習室の増席を検討することとしました。新しい年からは少しは余裕も出るのではと思っております。常備している図書も約800冊と当初からすると約倍の数となり、より皆さんの要望にお応えできるようになりました。

また2階、3階のミーティングルームも低料金の使用料ということもあっておかげで少しばかりですがご利用も増えております。

自主事業である環境サロン、まちなかエコ市場、まちなか銀天おそうじ隊につきましても回を重ね定着してまいりましたが、今後ともより一層皆様にご利用していただき、有意義なものにしてまいりたいと考えております。

今年もよろしくお願ひいたします。

館長 西村 誠

## 2/4(水) 18:30 低炭素のまちづくりシリーズ 第8回

### 「市民共同発電その後の状況」

お 話：津島 榮さん (うべ環境コミュニティー)  
と ころ：まちなか環境学習館  
参加費：200円 (ただし100エコハ進呈)

環境にも、宇部市の活性化にも有効な市民共同発電 (エネルギーの地産地消) システムを提案し、皆さんと共に実現に向け考えたいと思います。



宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、環境関連図書もある無料の学習室 (無料)、使いやすい料金のミーティングルーム (大・小) があります。お気軽にご利用、ご見学、お問合せください。

宇部市環境学習ポータルサイト  
「うべっくる」



うべっくる  検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

facebook や Twitter へもこちらからアクセスできます。

まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。ポータルサイト内の問い合わせ欄やブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

## 環境サロン

環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。一度だけのご参加も歓迎です。

問合せ…0836-39-8110 (銀天エコプラザ)

## 1/8(木) 18:30 里山の保全と再生シリーズ 第7回

### 「里海の保全対策 全国の里海を潜ってみて」

お 話：新井章吾さん  
(海藻研究所 所長、海中景観研究所所長)

と ころ：まちなか環境学習館

参加費：200円 (100エコハ進呈)

新井さんは、東北の被災地から九州まで全国津々浦々の里海を訪れ、海中写真や里海風景をインターネットで詳しく発信されています。

また沿岸の生き物にとっての海底湧水の大切さや、海藻肥料の有効性など啓蒙普及に努め、地域の人々とも密な交流をされています。

里海の理解を深める機会にしたいと思います。

## 1/22(木) 18:30 世代間・地域対話シリーズ 第7回

### 「コミュニティースクールに ESD をどう取り込むか」

お 話：池田満之さん (ESD-J 副代表理事)

と ころ：まちなか環境学習館

参加費：200円 (100エコハ進呈)

池田さんは環境系コンサル経営や大学講師のかたわら、岡山ユネスコ協会副会長、岡山市京山地区 ESD 推進協議会会長等として、今秋行われた岡山市 ESD ユネスコ世界会議の運営にも深く関わられました。

ESD とは何か、世界や日本での動きや、岡山での先進的取組について話していただき、理解を深めたいと思います。

## まちなか銀天おそうじ隊募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。

メンバーはその日集まってくくださった方。

楽しくおしゃべりしながら、「まち」をちょっときれいにしませんか?

新年初めは 1月25日(日) 15時から。

まちなか環境学習館前に集合です。

おそうじ隊参加者には、環境地域通貨「エコハ券」2枚進呈!

1月16日

### 土呂久事件が公表される (1971年)



天孫降臨の神話の里宮崎県高千穂、その中心から約 40 分山道を車に揺られて祖母・傾の連山のふもと近くにこの事件の舞台、土呂久(とろく)がある。

土呂久では古くから鉱山で栄え、江戸時代には銀山として栄え、明治時代になると細々と銅と鉛を採掘する鉱山であった。しかし明治時代末期になるとそれも途絶え、休山となっていた。

そんな忘れ去られた鉱山に目を付けたのが宮崎正一、川田平三郎といった人物である。大正時代の半ば、かれらは廃坑のまわりに捨てられていたヒ素の鉱石から亜ヒ酸という毒物の製造を始めた。

そして昭和に入り、太平洋戦争開始の年、昭和 16 年までは軍用機製造の中島飛行機の子会社によって経営され、錫を主体に亜ヒ酸を副次的に生産していた。

産出した亜ヒ酸の一部は瀬戸内海の島、大久野島に送られ毒ガス製造の原料として使われ、中国大陸に送られ戦争に使用された。

戦後は中島飛行機から離れた中島鉱山が細々と銅、鉛や亜ヒ酸を製造していた。そして 1962 年鉱山は閉山されその後、鉱業権は中島鉱山の親会社住友金属鉱山に移った。

亜ヒ酸の製造は鉱山で掘り出された硫磺鉄鉱を亜硫酸窯に木材などを使って焼き、ガスとして出てきて煙道に付着した亜硫酸を人手で採取するという原始的なものであった。

そうした鉱山の操業の過程で操業に当たる労働者はもちろん付近に住む人たちに亜ヒ酸は大きな被害をもたらした。

亜ヒ酸は身体に皮膚障害、呼吸器障害、眼鼻口の粘膜障害、胃腸障害、肝障害、心臓循環器障害、神経系障害、造血器障害、腎尿路の障害、聴力障害、視力視野障害、悪性新生物など、多彩な症状を示す有害な化学物質である。

そんな闇に隠されてきた被害に光を当てたのは闇の地から学校に通ってくる子どもたちの健康状態に危機感を感じた地元の岩戸小学校の教師齋藤正健であった。彼は周囲の教師たちの応援も受け、土呂久から通ってくる子どもたちだけでなく地元に住む人たちの実態調査にかかり、その悲劇を目の当たりにした。地元の人たちはそんな親身に話を聞く教師に重い口を開き、40 年あまり人目につくこともなかった悲劇を話し出した。その話の一つが鉱山近くにあった

「喜右衛門屋敷」の悲惨な話であった。亜硫酸窯から約 100m の所に住んでいた佐藤喜右衛門さん一家 7 人は 1930 年 11 月から 2 年の間に 17 歳の三女から 52 歳の本人までの 5 人が目のただれ、声は枯れ、激しく咳き込み、血痰を吐き、肝臓を腫らして苦しみながら死んでいくという壮絶なものであった。

1971 年 11 月、齋藤正健は宮崎県で開催された県教研集会で調査の報告をまず行った。そして宮崎県はただちに住民の健康診断を実施したが、それはおさなりのもので単に亜ヒ酸に影響によるものでもなく、他の原因でも発症するとことで医学の目で亜ヒ酸被害者とされなかった。

そして 1972 年 1 月 16 日、甲府市で開催された日教組教育研究会全国集会の席上、より内容を充実した報告を行った。これを新聞、テレビが大きく伝え、全国にその実態を明らかにした。また国会の公害対策特別委員会でも取り上げ問題となった。その後公害病として指定され、被害者は鉱業権を持つ住友金属鉱山を相手に被害賠償の裁判を起こしたが、直接採掘を行ったことのない住友金属鉱山は、拒否した。結局最高裁で和解となった。

2012 年新たに一人が慢性ヒ素中毒と認められ、土呂久公害患者は 187 人(生存者 50 人)となった。

(館長 西村誠)

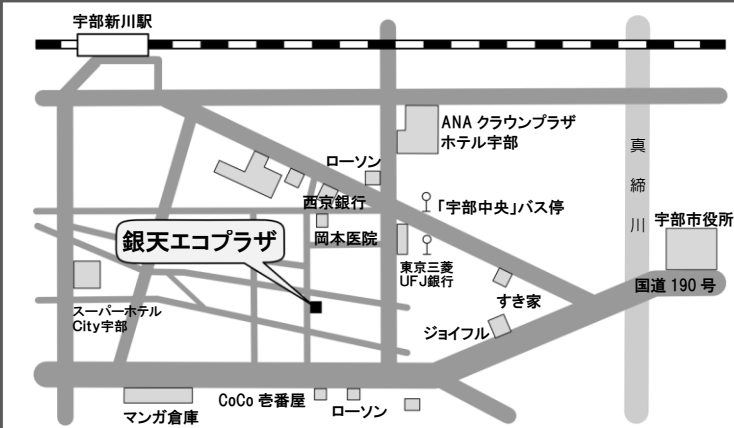
## 次回のエコ市場は3月15日(日)です。 ステージ出演者・出店(展)者大募集!

今年こそ整理整頓! 暮らしたいです。エコ度をアップしたいです。学習室の受験生のみならず、体調を整えてがんばってくださいね。  
札幌

新年あけましておめでとうございます!  
3月15日エコ市場で弾けます(^\_^)  
皆様、今年もよろしくお祈りします。  
脇谷

明けましておめでとうございます。  
本年も、銀天エコプラザを  
よろしくお祈りいたします。  
高山

「環境サロン」をはじめ、「ミールティンブルーム」や「学習室」など、多くの方のご参加、ご利用をお待ちしています。  
今年もどうぞよろしくお祈り致します。  
木村



### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目 11 番 21 号  
交通手段 J R 宇部線 : 「宇部新川駅」 徒歩 7 分  
宇部市営バス : 「宇部中央バス停」 徒歩 3 分  
駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)  
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com  
開館時間 9 時~21 時  
休館日 毎週火曜日、年末年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)